

桑野内ダムで

コイヘルペス

H24.8.3(金)

24匹処分

県は2日、五ヶ瀬町の桑野内ダムのコイがコイヘルペス(KHV)に感染していたと発表した。同日までに現地では24匹を回収し、焼却処分した。

桑野内ダムは五ヶ瀬川上流の宮崎、熊本県境にある発電用ダム。県によると、7月30日にダムを管理する九州電力からダム内でコイが死んでいると西臼杵支庁に連絡があ

り、3匹を回収。31日に

20匹、8月1日に1匹を回収した。県水産試験場

で1匹を検査したところ、KHVと確認された。

確認を受けて延岡河川国道事務所は2日、五ヶ

瀬川水系でのまん延防止を図るため対策本部を設

置。国や県の関係機関が連携し、河川巡視の強化

を重点的に行う。県漁村振興課は「KHVは人に

感染せず、仮に食べても健康に影響はない。死ん

でいるコイを見つけたときは連絡してほしい」と

五ヶ瀬町で

コイヘルペス

県は2日、五ヶ瀬川水系にある桑野内ダム(五ヶ瀬町)で、死んだコイ計24匹が見つ

り、うち1匹からコイヘルペスウイルスが検出されたと発表した。

同水系での確認は初。24匹は焼却処分した。

県によると、7月30日、同ダム管理者から

県に「コイが死んでい」と連絡があり、3匹を回収。今月1日までにさらに21匹の死骸

を回収し、県水産試験場で検査していた。

場

コイヘルペス 県内で今年度初

五ヶ瀬町の桑野内ダム

H24.8.3(金)

県は2日、五ヶ瀬町の桑野内ダムで、コイヘルペスウイルスに感染したコイが見つかったと発表した。県内での感染は今年度に入ってから初めて。

県漁村振興課によると、

7月30日にダムでコイの死骸が見つかり、8月1日までに死んでいた24匹

を回収した。うち1匹を県水産試験場で検査した

ところ、感染が判明した。感染しているコイを食べても人の健康に影響はないという。